



充実した研修を

北海道高等学校PTA連合会
会長 村井 為敦

この度、会長に就任しました村井為敦です。私たち道高P連は、これまで、「すべては子どもたちのために」を揺るがぬ信念として歩みを続けてきました。その業績を受け継ぎ皆様とともに活動の充実に取り組んでまいりますのでご支援ご協力のほどお願いいたします。

さて、ウィズコロナのもと社会が安定的に動き出したかと思えば、新たな波が押し寄せるなど、先が見通せない状況が続いています。今年度の全道大会（釧路・根室大会）も、昨年度と同様無参集映像配信型での開催となりました。昨年度は、多くの単Pや支部で映像を視聴して研修が行われました。中には「情報」の授業で活用された例も報告されています。今年度も、さらに、様々なPTA活動の中で活用くださいますよう期待しているところです。

長く続くコロナ禍に対応して、多くの単Pで活動の工夫が進められました。リモート会議や、生徒への激励メッセージの配布なども行われました。まだ、気は抜けないものの、PTA活動にはしっかりと前を見据えて進んでいきたいものです。

この「会報第5号」に合わせて、本会のウェブサイトにもアクセスをいただき道高P連、支部、単Pの活動等についての情報を活用してくだされば幸いです。

令和4年度の事業計画概要

総 会

6月4日（土）〔オンライン開催〕

高等学校教育振興対策事業

北海道教育委員会教育長及び高校教育関係部局との懇談

健全育成事業

高校生と語るつどい

石狩、道南、後志、空知、旭川、留萌、名寄、北見、胆振、日高各支部

「高校生ICT Conferance 2022 in 北海道」への協力（札幌市、帯広市）

研修事業

第71回北海道高等学校PTA連合会大会釧路・根室大会〔映像配信型〕、社会教育振興事業

進路対策事業

経済団体への新規高卒予定者の雇用確保、インターンシップ協力要請

調査広報事業

ホームページによる情報発信、高P連会報第5号発行

顕彰事業

特別功績者表彰、功績者表彰、功績団体表彰、優良PTA広報紙表彰、退任単位PTAへの感謝状の贈呈

第72回 北海道高等学校PTA連合会大会 後志大会

期 日 令和5年6月9日（金）・10日（土）
会 場 小樽市内
主管支部 後志支部
主 管 校 北海道倶知安高等学校

第71回 全国高等学校PTA連合会大会 石川大会

期 日 令和4年8月25日（木）・26日（金）
会 場 石川県金沢市
主 管 石川県高等学校PTA連合会



道高P連会報

第5号

令和4年8月20日

北海道高等学校PTA連合会
〒060-0005
札幌市中央区
北5条西6丁目1番
第二道通ビル
Tel 011(232)0007
Fax 011(232)0006

■ 令和4年度 第71回釧路・根室大会

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染の収束が見通せない状況にあることから、会員の安全の確保を第一に考え協議した結果、今年度についても非参集オンライン映像配信方式での開催となりました。残念ながら会員が参集しての大会開催は見送りさせていただきましたが、主管支部の創意と工夫をこらした内容をオンライン映像で会員の皆様に配信いたしました。

開 催 日 令和4年6月11日（土）
会 場 釧路プリンスホテル
主管支部 釧路・根室支部
（主管校 北海道釧路工業高等学校）
開催方式 非参集オンライン映像配信
当日 ライブ配信 以後オンデマンド配信
（当連合会ホームページでも公開しています。
<https://www.hokkaido-koupren.com/>）

【 大会主題 】

新時代をひらく若者を共に支えよう
～ 本音の語らいから生まれるPTAの活力 ～

【 大会メッセージ 】

「私たちは子どもたちの応援団、主役は子どもたち」を合い言葉に、
未来を担う子どもたちのために私たちに何ができるか問いかけます。

< 開会式 >

釧路北陽高校PTA栗田孝子会長の開式の言葉に始まり、道高P連村井為敦会長の主催者挨拶がありました。続いて、本大会の準備運営に早くから取り組まれてきた森下亮大会実行委員長の挨拶、更に全国高等学校PTA連合会泉会長から共催の挨拶がありました。

泉全国高P連会長からは、「歴史上の大きな転換期にある中、PTAには社会と深く連携し、新しい価値を定義していく役割が求められている。課題に立ち向かい、子どもたちのために未来を切り開くフロンティアになろう」との呼びかけがありました。

続いて、特別功績者、功績者、優良PTA会報の表彰及び感謝状の贈呈が行われ、それぞれの代表に表彰状と感謝状が授与されました。

受賞者を代表し、前道高P連会長の海東剛哲様から謝辞をいただきました。

【視聴用 URL】

<https://youtu.be/rFTvzrhPjr8>



< 講演 >

「おかんルール?!」と題して、釧路出身の直木賞作家桜木紫乃様とフリーアナウンサー大津洋子様によるトークライブ形式で行われました。

作家としての過去から現在までの生活、またご自身の親子関係やお子様とのご家庭での独自のルール等についてユーモアを交えて会話を繰り広げていただきました。

最後に「これからもよほどのことがない限り作家活動を続けていく」と決意を述べられていました。

今後も北海道を代表する作家として更なるご活躍を期待したいと思います。



< 分科会Ⅰ >

分科会Ⅰは「今、もう一度PTA活動のあり方を考えよう」をテーマとし、釧路東高校箕浦政人校長からの講話の後、中標津農業高校PTA清原会長の司会、箕浦校長、釧路湖陵高校古野副校長、根室高校PTA岡野会長、釧路湖陵高校PTA三浦理事の4名のパネリストによるディスカッションを行いました。

この分科会の様子は、次のURL（QRコード）で視聴できます。

<https://youtu.be/Oem85AObqL4>



< 分科会Ⅱ >

分科会Ⅱでは「次代を担う若者との対話」をテーマに、道高P連高橋副会長の司会で、阿寒高校吉田校長、釧路江南高校PTA植本会長、武修館高校PTA河村副会長、釧路湖陵高校2年是枝さん、釧路江南高校3年松尾さんの5名のパネリストによるディスカッションを行いました。

この分科会の視聴用URL（QRコード）は下記のとおりです。

https://youtu.be/0OM_8udUYfc



令和4年 第71回全国高等学校PTA連合会大会石川大会

今年の全国大会は、現地集合参加型とオンライン参加型のハイブリッド形式での開催となりました。

8月25日に全体会と分科会を開催し、26日に記念講演を行います。

また、開会式、各分科会、記念講演、閉会式は12月末までオンデマンド配信を行います。視聴できるのはあらかじめオンライン参加申込みを行った学校のPTAとなります。

石川大会の詳細は、下記のホームページを参照してください。

石川大会HP <https://2022taikai.ishi-koupren.org/>



令和 4 年度 北海道高等学校 PTA 連合会総会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に引き続きリモート開催としました。

代議員総数46名のうち出席者は36名（出席者とされる委任状提出者5名を含む）、欠席者は10名で、出席者が総会成立要件である3分の2の31名を超えており、総会の成立を確認しました。

海東剛哲会長の開会挨拶の後、議長に榎並孝代議員（恵庭北高校PTA会長）、議事録署名人に矢野亮一代議員（市立函館高校PTA会長）及び阿部穰代議員（留萌高校校長）を選出し議事に入りました。

議 案

（1）第1号議案 「令和3年度事業報告・収支決算報告」

3年度の会務と事業概要、一般会計及び特別会計決算報告及び会計監査報告に基づく提案を承認しました。

（2）第2号議案 「令和4年度役員の選任」

役員選考委員会から推薦された令和4年度役員候補（会長、副会長5名、監事3名）の選任が承認されました。

（3）第3号議案 「令和4年度事業計画・収支予算」

4年度の事業計画（会議、高校教育振興対策事業、健全育成事業、研修事業、進路対策事業、調査広報事業、健康安全対策事業、表彰事業、各支部との連携、北海道庁及び北海道教育委員会等の教育関係機関が設置する各種審議会等への役員の派遣）及び一般会計予算案、各特別会計予算案（退職金積立金・保険制度・団体助成事業・高校生健全育成事業・特別損失基金）の提案を承認しました。

報 告

次年度以降の道高P連総会・全道大会主管支部について報告されました。

令和 4 年度 北海道高等学校 PTA 連合会 役員名簿

役職名	氏 名	所 属	所属校等
会 長	村井 為敦	旭 川 支 部	旭 川 東
副 会 長	高橋 憲司	胆 振 支 部	苫 小 牧 西
副 会 長	金井 禅	石 狩 支 部	札 幌 西 陵
副 会 長	海老田憲人	石 狩 支 部	札 幌 新 川
副 会 長	辻 麻紀	石 狩 支 部	江 別
副 会 長	林 正憲	校 長 協 会	札 幌 北
監 事	奈良 賢祐	釧 路 支 部	釧 路 北 陽
監 事	堀川 貴庸	十 勝 路 部	帯 広 南 商
監 事	遠藤 卓	日 高 路 部	静 内
顧 問	新井田 寛	石 狩 支 部	札 幌 月 寒
顧 問	山本 美加	石 狩 支 部	札 幌 北 陵
顧 問	海東 剛哲	留 萌 支 部	留 萌
常 任 理 事	福田 梢	石 狩 支 部	北 広 島 西
理 事	佐藤 正宗	石 狩 支 部	札 幌 白 陵
理 事	柏倉 正	道 南 支 部	函 館 工 業
理 事	森 禎樹	後 志 支 部	倶 知 安
理 事	坂井みづほ	空 知 支 部	岩 見 沢 西
理 事	中澤 恵子	旭 川 支 部	旭 川 西
常 任 理 事	大石 昌明	留 萌 支 部	留 萌
理 事	上野 純	名 寄 支 部	士 別 翔 雲
理 事	佐々木将貴	北 見 支 部	北 見 柏 陽
理 事	梶本 直哉	十 勝 支 部	帯 広 三 条
常 任 理 事	森下 亮	釧 路 支 部	釧 路 工 業
常 任 理 事	清原 孝志	根 室 支 部	中 標 津 農
理 事	山端 敬史	胆 振 支 部	苫 小 牧 南
理 事	吉津 孝昭	日 高 支 部	浦 河
理 事	三条 步	校 長 協 会	旭 川 東
理 事	佐賀 聡	校 長 協 会	北 広 島 西
理 事	遠藤 孝一	校 長 協 会	札 幌 白 陵
理 事	藤村 誠	校 長 協 会	札 幌 西
理 事	吉野 光	校 長 協 会	札 幌 北 陵
理 事	清水 信彦	校 長 協 会	大 麻
理 事	加澤 雅裕	校 長 協 会	小 樽 潮 陵
常 任 理 事	大谷 健介	教 頭・副校長会	札 幌 西
常 任 理 事	岩間 淳	公立学校事務長会	石 狩 翔 陽

令和 4 年度 収支予算書

一 般 会 計

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	19,100,000	19,510,000	△ 410,000
補助金等収入	281,000	287,300	△ 6,300
雑収入	700	700	0
他会計からの繰入金収入	10,005,300	10,007,000	△ 1,700
事業活動収入計	29,387,000	29,805,000	△ 418,000
2. 事業活動支出			
事業費支出	14,670,000	14,550,000	120,000
広報活動事業費	1,450,000	1,450,000	0
高校生と語るつどい事業費	4,000,000	4,000,000	0
社会教育活動振興事業費	950,000	950,000	0
健全育成活動事業	3,650,000	3,650,000	0
委員会活動事業費	100,000	100,000	0
地区助成事業費	800,000	800,000	0
表彰事業費	720,000	600,000	120,000
大会助成事業費	3,000,000	3,000,000	0
管理費支出	20,890,000	21,040,000	△ 150,000
給料手当支出	4,100,000	5,500,000	△ 1,400,000
福利厚生費支出	700,000	1,100,000	△ 400,000
理事会議費	2,950,000	1,800,000	1,150,000
支部事務局長会議費	0	0	0
旅費交通費支出	3,000,000	3,000,000	0
通信運搬費	1,600,000	1,100,000	500,000
消耗品費支出	800,000	800,000	0
修繕費支出	200,000	200,000	0
印刷製本費支出	400,000	400,000	0
光熱水料費支出	200,000	200,000	0
賃借料支出	2,700,000	2,700,000	0
負担金支出	3,740,000	3,740,000	0
雑支出	500,000	500,000	0
他会計への繰出金支出	150,000	186,000	△ 36,000
事業活動支出計	35,710,000	35,776,000	△ 66,000
事業活動収支差額	△ 6,323,000	△ 5,971,000	△ 352,000
II 予備費支出	286,691	274,222	12,469
予備費支出	286,691	274,222	12,469
当期収支差額	△ 6,609,691	△ 6,245,222	△ 364,469
前期繰越収支差額	10,109,691	9,245,222	864,469
次期繰越収支差額	3,500,000	3,000,000	500,000